

誤

おん
あやまる

〔6年〕

ながく

14画
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ

なりたち 大声で歌い舞い踊る意味の呉と言との会意形声字。浮かれ楽しんで言う言葉はあてにみならず、「間違」が多く信用すると、「あやまる」ことから、「あやまる」という意味を表した字。

また、「あやまち」という意味を表した字。



誤記：間違つて書くこと。
誤写：書き写すのを間違えること。
誤診：間違つた診断。
誤審：間違つた審判。
誤認：間違つて、違うものをそれと認めること。見違えたり、考え違えたりすること。
用例 敵を味方と誤認する。

誤字：間違つた字。用例 誤字を訂正する。

誤解：あやまつた理解をすること。

誤差：誤算・誤報

誤報

虞

おん
おそれ

〔6年〕

はねる

13画
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

なりたち 虎(虍)の形を象(虞)つた声と呉の形声字。虎に似た動物の名。人はこれを見ておそれるので「おそれる」ことを表した。「おそれ」。



おそれる。おそれ。心配する。悪いことが起こるのではないかと心配する。用例 洪水の虞がある。

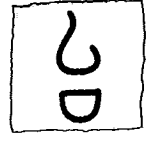
台

おん
ダイ・タイ

〔2年〕

5画
一
一
一
一
一

なりたち 鼻の形を表し、私の本字であるムと口との会意字。「私」の意味。また、口を開いて「よるこぶ」こと。また、「見はらし台」の意味の「臺」と同音のため、臺の意味に用いられる。



見はらし台：高い建物。灯台：①岬などに建てて夜間は光を出し船の航行の安全を図る設備。②昔の室内照明具。灯明台。用例 灯台下暗し。(灯明台の真下が暗いように、手近のものが案外見えないことのとどえ。)
高くて平らな土地。
高地：周囲より高くて平らな地形。
高くして平らな、物をのせる道具。
台座：仏像を安置するもの。
物ののせる基礎となるもの。
土台：①建物の基礎。②広く物事の基礎。
機械や車を数える言葉。用例 乗用車が三台ある。
よみかた 台形・台帳・台頭・台無し・台風・鏡台・舞台・踏み台・屋台

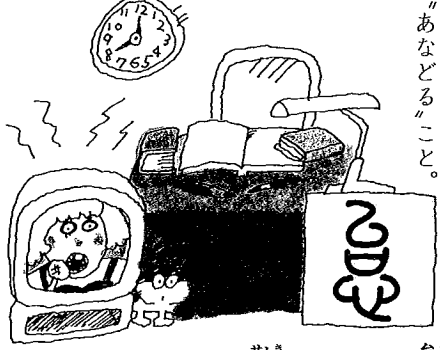
怠

おん
タイ

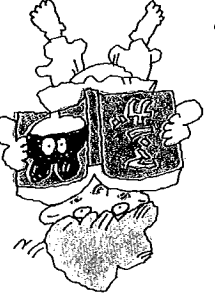
〔2年〕

9画
一
一
一
一
一
一
一
一
一

なりたち 喜ぶ意味の台と心との会意形声字。心に喜ぶことがあって、「心がゆるむ」ことを表した字。「なまける」こと。「おこたる」こと。また、「あなどる」こと。



心がゆるむ。倦怠(怠)：①飽きて、いやになること。例 倦怠期 ②体がだるくて何もする気になれないこと。例 倦怠感
なまける。おこたる。
怠惰：なまけてだらしないこと。用例 怠惰な生活に慣れて身上を食いつぶす。
怠慢：すべきことをしないでなまけること。例 職務怠慢
怠納：納めるべきもの(税金や授業料など)を期日までに納めないこと。ふつうは「滞納」と書く。
勤怠：勤勉なことと怠惰なこと。



台怠

誤虞